

第6回

「大洲市総合計画審議会」・「大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定戦略会議」 議事要旨

日時：平成28年10月3日（月）午前10時

場所：大洲市役所 大ホール

1 第2次大洲市総合計画基本構想（素案）について

【事務局】 説明

【委員】 資料1P1-11に「平成27年には6,077haの所有山林にスギやヒノキが植林されている」とありますが、大洲市には約20,000haのスギ・ヒノキがあります。

【事務局】 もう一度、数値を確認します。

【委員】 大洲市では中学生歴史副読本を作成されるなど、郷土の歴史に関する教育を充実されていますので、そのようなことを施策の大綱2-1「教育の振興」に書き込んではいかがでしょうか。また、施策の大綱3-2「福祉の充実」と「まちづくりの課題」に、子育て支援についてももう少し加筆してはいかがでしょうか。

【事務局】 事務局で具体的な文言を検討・追加します。

【委員】 「第2次総合計画」とのことですが、第1次計画の検証・総括が必要ではありませんか。また、なぜ計画期間は10年間なのでしょう。

資料1P1-5に「地域の個性を活かしたまちづくり」とありますが、「地域の個性」の定義づけと共有が必要ではありませんか。

資料1P1-8から現状分析が行われていますが、他市との比較がありませんので、大洲市の優れているところ・劣っているところが見えてきません。例えば、人口規模が同程度の市町村の中での位置づけをレーダーチャートで示し、比較してみてもいかがですか。

資料1P1-16から市民アンケート結果を分析されていますが、市内だけでなく、市外・県外・国外からの意見を取り入れるべきではありませんか。

資料1P1-17の分析から、「商業の活性化」が重要な施策と分かったのであれば、商店街の活性化に向けて何度でも挑戦してみるべきではありませんか。

資料1P1-23, 24の「今後のまちづくりの課題」は、一般的な事項の記載に留まっています。大洲市の課題に特化して記載するべきだと思います。

資料1P2-3に「市民総参加」の「協働による自立のまちづくり」という言葉がありますが、そのためには、市民・事業者・行政がフラクに議論できる場を設けることが必要だと思います。

資料1P2-5に「目標人口40,000人」とありますが、達成できないと思います。達成できない目標を掲げるのではなく、例えば「農業人口の減少だけは食い止める」

といった考え方をすべきではありませんか。

資料1 P2-10以降、基本目標と施策の大綱についてです。総合計画は総花的にならざるを得ないと理解していますが、やはり、特に力を入れる分野を示すべきではありませんか。また、「おおずブランド」という記載がありますが、何を以て「おおずブランド」とするのでしょうか。

全ての分野の中で農業施策を中心に大きく位置付けて、その周りに観光・教育・文化・自然・防災・定住といった他の施策を関連して位置付けるといった考え方が、大洲市における地域の個性というものになるのではないのでしょうか。

例えば、銀行・市民・行政が出資して、農業基金を設立できれば良いと思います。また、商店街に空き店舗が増加しているならば、道路の片側を全て駐車場にしてモータリゼーションに対応した新しい商店街を生み出す、といったアイデアが必要だと思います。

【事務局】 第1次計画では適切な数値目標の設定が無く、総括・評価できておりませんので、今回は、基本計画の中で数値目標を設定し、評価する仕組みをつくっておきたいと考えています。そのような中で、第1次計画の総括として、市民アンケートによる満足度の比較を行っています。これによって総括しているにご理解ください。

総合計画の下位計画・個別計画で具体的に施策・事業を実施する中で、それを取りまとめる基本計画は5年間で見直しを行うこととし、基本構想は概ね10年程度を見据えておくことが妥当と考えておりますので、ご理解ください。

市民総参加の方法については、市民の皆様と共に市民会議という会議を行っております。

目標人口は、昨年度に策定した「大洲市人口ビジョン」と整合を図りながら、40,000人を目指していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

また、農業施策を全分野の中心に位置づける、というご意見をいただきましたが、行政の立場として、また総合計画の性質として、全ての産業・全ての分野について記載しておかなければならない面があります。その中で、ある程度は総花的で夢を持った構想を掲げることが必要と思っています。

【会長】 商店街を道路の片側に寄せる構想など、おもしろい施策をご提案いただきましたが、実現性が低い面もあります。また、そのような施策を計画に書きこもうとする場合、商店街との話し合いなどで合意形成に膨大な時間がかかってしまいますので、ご理解いただければと思います。

【委員】 総合計画は総花的にならざるを得ないと理解していますが、基本目標の順番を変えることはできると思います。市民アンケートから、産業振興が最重要課題と分かるのであれば、基本目標3「活力きらめくまちづくり」が1番最初に来るべきではありませんか。

【会長】 先ほどの意見を受けて、「活力きらめくまちづくり」が1番上で良いのでしょうか。特に反対もありませんので、そのように修正してください。

2 第2次大洲市総合計画基本計画（骨子案）について

【事務局】 説明

【委員】 基本計画には数値目標を設定するとのことでしたが、個々の施策に設定するということですか。

【事務局】 個々の施策に数値目標を設定し、全体的に見やすくまとめた計画にしたいと考えています。

【委員】 資料2P17、施策20「交通・情報網の整備」のうち、情報網の整備について、地方では特に情報網の充実が必要になってくると思います。大洲市では、公衆無線LANの整備も進んできていますので、情報網の整備について、もう少し具体的に加筆して欲しいと思います。

【委員】 資料2P6、施策5「学校教育の充実」について、大洲市は全国学力テストの順位が低い状況です。「現況と課題」に学力低下について記載するとともに、これに対応する具体的な施策についても、もう少し踏み込んで記載して欲しいと思います。

【委員】 資料2P8、施策7「文化・芸術・スポーツの振興」のうち、スポーツの振興について、カヌーをさらにPRしてレジャーにも活用すると良いと思います。カヌーは大洲市でしかできないスポーツです。

【委員】 資料2P11、施策12「障がい者福祉の充実」に「障がい児対策の充実」とありますが、「障がい児支援の充実」に修正してください。障がい児支援については、障がいの早期発見だけでなく、療育が重要です。さらに言えば、子どもを対象にしたリハビリ施設が市内にあると良いと思います。

また、障がい児支援は幼児教育とも関連しますので、他の施策との連携や分野横断的な施策の扱いについても考えていただければと思います。

【委員】 資料2P15、施策18「観光業の振興」に「おおずブランドを活用した観光プログラムの開発」とありますが、これは「おおず歴史華回廊」のことでしょうか。また、「おおずええモンセレクション」がありますが、このように既に取り組みされている事項については、固有名詞として計画に書き込んでも良いのではないのでしょうか。

【事務局】 詳細は担当課と調整させてください。

【委員】 バイオマス発電は進んでいますか。

【会長】 検討されていますが、あまり進んでいないと思います。バイオマス発電を行う場合、現在の残材では足りませんので、ヤシガラを輸入して、補助金も使って発電しているようです。そうすると単価が高い電気になってしまいます。

【委員】 林業関係の施策は資料2P13、施策15「林業の振興」に概ね書かれていますので、この内容で問題無いと思います。バイオマスについても書いてありますが、重要な施策です。また、木材の輸出についても考えていかななくてはなりません。

【会長】 いずれにせよ林業は重要な産業ですので、公共建築物への木材利用も含めて進めていければと考えています。

【事務局】 スケジュールの都合上、基本目標の順番の入れ替えについては現在の素案のまま
で、基本構想のパブリックコメントを進めたいと思います。パブリックコメントの
終了後、まとめて修正していきたいと思います、よろしく申し上げます。

3 閉会

以上